

歯科患者を診るためのイントロダクション (IDP : Introduction to the Dental Patient)

(2020年9月2日～9月30日)

コース責任者 (主) 工藤義之、森川和政、小林琢也、浅野明子、下山佑

講座(分野) 担当者 : 歯学教育部門(ODE)長 佐藤和朗教授
: 総括科目責任者全コース主責任者 間山寿代講師
: 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 工藤義之准教授
: 口腔保健育成学講座(小児歯科学分野) 森川和政教授
: 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 田中良一教授、佐藤仁助教
: 口腔医学講座(関連医学分野) 千葉俊美教授
: 歯科保存学講座(歯周療法学分野) 八重柏隆教授、村井治助教
: 補綴・インプラント学講座(補綴・インプラント学分野) 鬼原英道教授
: 補綴・インプラント学講座(摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野) 小林琢也教授
: 口腔顎顔面再建学講座(口腔外科学分野) 山谷元気助教
: 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 佐藤雅仁准教授
: 口腔医学講座(予防歯科学分野) 岸光男教授
: 口腔保健育成学講座(歯科矯正学分野) 間山寿代講師
: 解剖学講座(機能形態学分野) 藤原尚樹教授
: 解剖学講座(発生生物・再生医学分野) 原田英光教授
: 微生物学講座(分子微生物学分野) 下山佑講師
: 生理学講座(病態生理学分野) 成田欣弥講師
: 法科学講座(法歯学・災害口腔医学分野) 熊谷章子准教授

第3学年 後期

講義 実習・他
49.5時間 52.5時間

教育成果(アウトカム)

医療面接講義とロールプレイ方式での医療面接実習を通じて、医療面接を行う際に必要な知識と基本的な医療コミュニケーション能力を身につけることができる。さらに、医療面接に必要なインフォームドコンセントについての説明ができるようになる。

外来での印象採得相互実習、シミュレーターや相互エックス線撮影実習を通じて、エックス線検査を行なうことができるようになるとともに、医療人に必要な身だしなみ、患者への配慮、清潔域不潔域を遵守する態度を身につけることができる。

講義を通じて各歯科専門領域の概略を説明できるようになるとともに、有病者歯科患者や周術期患者に必要な歯科医療について説明できるようになる。

グループ学習を通じて、与えられた課題について問題点を抽出し、解決のために必要な事柄を発想、解決して分かりやすくプレゼンテーションを行うことができるようになる。

(ディプロマ・ポリシー: 1、2、3、4、5)

事前学修内容及び事前学修時間(30分)

講義ごとに指定のある場合はその指示によるものとし、特に指定のない場合はシラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、WebClassにアップロードした講義資料(2日前までにする)、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義・実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月2日(水) 1限	ODE 佐藤和朗教授 (歯学教育部門長) コース主責任者 工藤義之准教授	1～7コースと1コースの 概要 1～7コースと1コースの 内容と合格基準について 説明できるようになる。	1. 1～7コースの目標について説明できる。 2. 1～7コースの概要を説明できる。 3. 1～7コースの評価法について説明できる。 4. IDPの目標について説明できる。 5. IDPの内容について説明できる。 6. IDPの実習について説明できる。 7. IDPの評価法について説明できる。
9月2日(水) 2限	工藤義之准教授 浅野明子講師 長谷部智之助教 (う蝕治療学) 阿部晶子准教授 (予防歯科学)	診療姿勢 実習室(矢巾) シミュレーターで正しい 診療姿勢をとることがで きるようになる。	1. 適切な診療姿勢をとることができる。 2. ドクターズツールの高さを調節できる。 3. ホームポジションをとることができる。 4. ハンドピースの3種の持ち方で把持できる。 5. 正しくレストを置くことができる。 [F-1-2), F-3-3)] 事前学習: WebClass で実習書「診療姿勢」ファイ ルを理解し、診療姿勢について書籍等で調べる。

<p>9月2日(水)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>実習説明 (矢巾)</p> <p>印象&模型作製 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>放射線 シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。</p> <p>[E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClass の準備をしておくこと。</p>
----------------------------	--	--	--

<p>9月3日(木)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G1: 印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G2: 放射線(5階会議室 1、 1階歯科放射線第2臨床 実習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G3、4、5、6 グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
----------------------------	--	---	---

<p>9月3日(木)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G3: 印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G4: 放射線(5階会議室 1、 1階歯科放射線第2臨床 実習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G1、2、5、6 グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
<p>9月4日(金)</p> <p>1限</p>	<p>藤原尚樹教授 (機能形態学)</p>	<p>印象採得に必要な解剖学</p> <p>粘膜表面構造と内部の構 造の関連を説明できるよ うになる。</p>	<p>1. 口腔粘膜の表面構造を説明できる。 2. 粘膜下の骨構造を説明できる。 3. 粘膜下組織の構造を説明できる。 4. 粘膜下の筋肉の機能を説明できる。 [E-2-1)-②③、E-2-2)-①②] 事前学習：解剖学の教科書「口腔解剖学(医 歯薬出版)第15章を読んでその内容を復習 しておくこと。講義中に臨床との関連性も含 め解説を行う。</p>

<p>9月4日(金)</p> <p>2限</p>	<p>齋藤設雄講師 (医療工学)</p>	<p>口腔状態の記録に用いる 歯科材料</p> <p>印象と模型の製作に用いる歯科材料の種類と、精密な口腔内模型を作製するための取り扱い上の留意点を説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内模型作製の目的を説明できる。 2. 口腔内模型作製の工程と用いる材料（印象材、石膏）を説明できる。 3. 模型の用途に応じた印象材、石膏の選択を説明できる。 4. 印象採得の技術に関わる諸因子（トレーの種類と取り扱い、印象材の物性）を説明できる。 5. 石膏の取り扱いに関する技術上の留意事項（練和、注入、消毒、保管）を説明できる。 <p>[D-1-①②、D-2-②]</p>
<p>9月4日(金)</p> <p>3、4限</p>	<p>肥田圭介教授 (医療安全学講座) 岸 光男教授 (予防歯科学) 泉澤 充准教授 (歯科放射線学)</p>	<p>医療安全</p> <p>感染制御</p> <p>放射線管理</p> <p>医療安全には種々の要素があることを理解することで、安全な歯科医療を提供する態度をとるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の意味と必要性を説明できる 2. 医療事故を説明できる。 3. 医療事故の原因を分析し、解決策を立案できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症成立の3要素別に院内感染対策を列挙できる。 2. 感染症対策に係わる法規を列挙できる。 3. 抗菌薬適正使用の意義を概説できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線被ばく管理の理念を説明できる。 2. 職業被ばくと線量限度を説明できる。 3. 放射線被ばく防護について説明できる。 <p>[A-6-1)-⑤～⑦, A-6-3)-①～⑤]</p> <p>事前学習 [医療安全] 歯科医療に関する医療事事故例について調べ、原因と予防策をまとめる。 [感染制御] 2年時衛生学・公衆衛生学「感染症の予防」のレジメを復習しておくこと。 [放射線管理] 歯科放射線学第5版 第2章 5. 【医療における放射線防護】を通読し、要点をまとめること。</p>
<p>9月7日(月)</p> <p>1限</p>	<p>成田欣弥講師 (病態生理学)</p>	<p>心臓の構造と機能</p> <p>心臓の構造と機能、および循環調節について理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の構造と働きを説明できる。 3. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 4. 心電図波形の成り立ちを説明できる。 5. 心機能および血圧を調節する自律神経とホルモンの働きを説明できる。 <p>[C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4)-(9)-①]</p> <p>事前学習：循環について1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。</p>
<p>9月7日(月)</p> <p>2限</p>	<p>佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)</p>	<p>全身疾患、全身管理と 歯科診療の関係</p> <p>歯科診療と全身疾患とのかわりについてについて説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療の侵襲が全身に及ぼす影響について説明する。 2. 全身疾患についての情報収集法を説明する。 3. 歯科診療時注意すべき全身疾患を列挙する。 4. 全身疾患を有する患者への対処法を説明する。 <p>[A-7-2)-⑥、E-1-3)-(1)、E-1-5)-①]</p> <p>事前学習：WebClassに提示した資料を利用して歯科治療と全身疾患の関連について予習しておく。</p>

<p>9月7日(月)</p> <p>3限</p>	<p>千葉俊美教授 (関連医学分野)</p>	<p>循環器疾患</p> <p>歯科疾患治療と循環器疾患の関係について理解する。</p>	<p>1. 歯科疾患治療と以下の代表的循環器疾患との関係について理解し、それぞれの循環器疾患の概念について説明できる。 感染性心内膜炎、高血圧症、虚血性心疾患、不整脈、心不全 [E-6-②] 事前学習：循環器疾患に関して医科学総論で使用する内科学教科書を一読して講義に臨むこと。</p>
<p>9月7日(月)</p> <p>4限</p>	<p>大石泰子助教 (予防歯科学)</p>	<p>周術期の口腔管理</p> <p>周術期患者への歯科医師、歯科衛生士の関わりについて説明できるようになる。</p>	<p>1. 周術期患者への口腔管理の必要性を説明できる。 2. 化学療法、放射線療法を受ける患者の口腔内に現れる症状について説明できる。 3. 周術期患者に必要なケアや歯科治療について説明できる。 [E-5-1] 事前学習：到達目標について講義資料や書籍などで「周術期の口腔管理」についてまとめておく。</p>
<p>9月8日(火)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福徳暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G5: 印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。</p> <p>G6: 放射線(5階会議室1、1階歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4 グループ学習 与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClassの資料を理解し、印象採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>

<p>9月8日(火)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G2: 印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G1: 放射線(5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床 実習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G3、4、5、6 グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明でき る。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClass の準備をしておくこと。</p>
<p>9月9日(水)</p> <p>1限</p>	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p>	<p>医療コミュニケーション1 医療情報収集 (医療面接)</p> <p>医療面接の目的、意義、 手技を説明できるよう なる。</p>	<p>1. 医療面接の目的と方法を説明する。 2. 医療面接の心得を説明する。 3. 主訴の定義、種類を説明する。 4. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を 説明する。 5. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説 明する。 [A-1-2)、A-4、A-5] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：WebClass の資料を理解しておく。 書籍で医療面接について調べ、まとめてお く。講義の最初に事前学習の内容についてプ レゼンテーションの機会を設ける。</p>

<p>9月9日(水)</p> <p>2限</p>	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p>	<p>医療コミュニケーション2</p> <p>医療情報収集(歯科体系、専門用語、主訴、既往歴、現病歴)について説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療録の意義を説明する。 2. 診療録に記載する項目について説明する。 3. 歯式の記入法を説明する。 4. 歯式に用いる略語を説明する。 5. 主訴の定義、種類を説明する。 6. 主訴に対する現病歴の医療面接の仕方を説明する。 7. 既往歴(全身、口腔関連領域)について説明する。 <p>[A-1-2), A-4, A-5]</p> <p>DESS 演習の準備をしておくこと。</p> <p>事前学習: WebClass の資料を理解しておく。 書籍で診療録について調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。</p>
<p>9月9日(水)</p> <p>3限</p>	<p>工藤義之准教授 (う蝕治療学)</p>	<p>歯の修復、歯内療法が必要な患者についての導入</p> <p>歯の修復を必要とする疾患と治療法について説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の修復の原因を説明できる。 2. 歯の修復法を列挙し説明できる。 3. 保存修復学の概要を説明できる。 4. 歯内疾患の原因を説明できる。 5. 歯内療法の流れを説明できる。 6. 歯内療法学の概要を説明できる。 <p>[E-3-3)]</p> <p>DESS 演習の準備をしておくこと。</p> <p>事前学習: WebClass の資料を理解しておく。 医歯薬出版保存修復学第1章1、2、3、4、 歯内療法学第1章1、2を読み、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。</p>
<p>9月9日(水)</p> <p>4限</p>	<p>原田英光教授 (発生物・再生医学)</p>	<p>歯周組織の正常構造について</p> <p>歯周組織の発生からその構造的意味と臨床における重要性を説明できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織の構造を説明できる。 2. セメント質・歯根膜・歯槽骨の関係を説明できる。 3. 歯根発生と歯周組織形成、セメントエナメル境、接合上皮の構造とその意義について説明できる。 4. 歯槽骨の構造とエックス線写真との関連を説明できる。 <p>[E-3-1)-⑥]</p>

<p>9月10日(木)</p> <p>1、2限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClass の準備をしておくこと。</p>
<p>9月10日(木)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。 クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClass の準備をしておくこと。</p>

9月11日(金) 1限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学および歯科矯正治療の意義 歯科矯正学および歯科矯正治療の意義について説明できるようになる。	1. 歯科矯正学の定義を説明できる。 2. 歯科矯正学の目的と意義を説明できる。 3. 矯正治療の目的と意義を説明できる。 4. 不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 [E-4-1)-①②] WebClassの資料を理解し、相当する項目について歯科矯正学6版を読んでおく。
9月11日(金) 2限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	正常咬合と不正咬合について 正常咬合の概念と不正咬合を表現できるようになる。	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 歯列と咬合について説明できる。 4. 不正咬合の客観的な表現法を説明できる。 [E-2-2)-④、E-4-1)-②] WebClassの資料を理解し、相当する項目について歯科矯正学6版を読んでおく。
9月11日(金) 4限	山谷元気助教 (口腔外科学)	口腔外科序論 口腔外科診断学 診察法 口腔外科の概要について説明できるようになる。 口腔外科の診察において必要な診察法を説明できるようになる。	1. 口腔外科学の体系を概説できる。 2. 歯科医療における口腔外科学の意義を述べることができる。 3. 診察法の種類を列挙できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。 5. 診察に必要な器材を列挙できる。 6. 視診の項目を列挙できる。 7. 触診の項目を列挙できる。 [E-1-1)、F-2-1)、F-2-2)] 事前学習：提示する検討項目（抜歯、炎症、先天異常、外傷、腫瘍）について参考図書等で調べる。
9月14日(月) 1限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション3 患者へのアプローチ 患者に対する歯科医の心構えを理解するとともに、診断の基本について説明できるようになる。	1. 患者に接するときの心構えを説明する。 2. 良医(歯科医)の条件を説明する。 3. 患者と疾患との関連を説明する。 4. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明する。 5. 診断に必要な診査事項を説明する。 6. 診断の方法を説明する。 7. 医療情報の収集法を説明する。 [A-1-2)、A-4、A-5] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：WebClassの資料を理解しておく。書籍で患者に対する歯科医の心構えについて調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。
9月14日(月) 2限	工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)	医療コミュニケーション4 チーム医療と多職種連携 チーム医療における歯科医師の役割を理解し、他職種連携について説明できるようになる。	1. チーム医療について説明できる。 2. チーム医療における各種職業の役割について説明できる。 3. チームの形成過程について説明できる。 4. 多職種連携について説明できる。 [A-1-2)、A-4、A-5] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：WebClassの資料を理解しておく。書籍でチーム医療と多職種連携について調べ、まとめておく。講義の最初に事前学習の内容についてプレゼンテーションの機会を設ける。

<p>9月14日(月)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター</p> <p>全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>歯周系</p> <p>滝沢尚希助教 (歯周療法学)</p> <p>摂食嚥下</p> <p>福德暁宏助教 (補綴・インプラント学)</p> <p>院内感染</p> <p>下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>訪問診療</p> <p>村上智彦助教 (補綴・インプラント学)</p> <p>矯正系</p> <p>畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。</p> <p>クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
-----------------------------	---	---	--

<p>9月15日(火)</p> <p>1、2限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習 (内丸)</p> <p>G4: 印象&模型作製 (外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G3: 放射線(5階会議室 1、 1階歯科放射線第2臨床 実習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G1、2、5、6 グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習：WebClass の資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
-----------------------------	--	---	--

<p>9月15日(火)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患</p> <p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ別実習(内丸)</p> <p>G6: 印象&模型作製(外来) 学生相互で印象を採得し 研究用模型を作製できる ようになる。</p> <p>G5: 放射線(5階会議室1、 1階歯科放射線第2臨床 実習室) シミュレーターや相互実 習で口内法エックス線撮 影ができるようになる。</p> <p>G1、2、3、4 グループ学習 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるようにな る。 クラス全員に対してわ かりやすいプレゼンテー ションができるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 印象採得に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 相互実習で印象採得を実施できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる。 5. 研究用模型の作製法を説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥] 事前学習: WebClass の資料を理解し、印象 採得、模型作製について調べる。</p> <p>1. 二等分法について説明できる。 2. 正放線投影について説明できる。 3. 口内法撮影の手順を列挙できる。 4. 清潔域・不潔域を区別できる 5. 撮影の失敗とその原因について説明できる。 6. 最終発表について説明できる。 [E-1-2)-⑦]</p> <p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 最終発表について説明できる。</p> <p>[E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClass の準備をしておくこと。</p>
<p>9月16日(水)</p> <p>2限</p>	<p>滝沢尚希助教 (歯周療法学)</p>	<p>歯周病患者へのイントロ (リスクファクター、全 身への影響)</p> <p>歯周病のリスクファク ターと全身への影響をに ついて説明できるようにな る。</p>	<p>1. 歯周病のリスクファクターについて説明 できる。 2. 細菌因子について説明できる。 3. 環境因子について説明できる。 4. 宿主因子について説明できる。 [E-3-3)-(3)-①、E-3-2)-③] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版の該当 ページを読んで到達目標についてまとめる。</p>
<p>9月16日(水)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)</p>	<p>医療コミュニケーション 実習(矢巾実習室)①</p> <p>ロールプレイ実習で医療 面接を実施できるようにな る。</p>	<p>1. 指定された時間内に、初診時医療面接を 行うことができる。 [F-1-1)] 事前学習: IDP 講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯 科医師役をシミュレーション練習して実習 に臨むこと。</p>

<p>9月17日(木)</p> <p>1、2、3、4限</p>	<p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p>	<p>実習試験① (内丸)</p> <p>印象採得 (外来) 印象採得を実地できるようになる。</p> <p>口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 <p>[F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習:印象採得について各自シミュレーション練習を行い試験に臨むこと。</p> <p>以下の項目を規定時間内に実施できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <p>[E-1-2)-⑦]</p>
<p>9月18日(金)</p> <p>1、2限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福德暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習</p> <p>与えられた課題について必要な資料を収集して問題点を明らかにし、まとめることができるようになる。</p> <p>クラス全員に対してわかりやすいプレゼンテーションができるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2. 与えられた課題を解決できる。 <p>[E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4] WebClassの準備をしておくこと。</p>
<p>9月18日(金)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学)</p>	<p>医療コミュニケーション実習 (矢巾実習室) ②</p> <p>ロールプレイ実習で医療面接を実施できるようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。 <p>[F-1-1)] 事前学習: IDP 講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯科医師役をシミュレーション練習して実習に臨むこと。</p>

9月23日(水) 3限	村上智彦助教 (補綴・インプラント学)	歯の修復・補綴が必要な患者についての導入 歯の欠損と欠損補綴の基本について説明できるようになる。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を説明できる。 2. 歯の欠損と補綴治療の目的、臨床的意義を説明できる。 [E-1-1)、F-2-1)、F-2-2)]
9月23日(水) 4限	平 雅之准教授 (医療工学)	審美修復材料 審美修復に用いられるレジンおよびセラミック材料について説明できるようになる。	1. 充填に用いる審美修復材料の種類と特徴および取扱いを説明できる。 2. インレーに用いる審美修復材料の種類と特徴および製作法の概要を説明できる。 3. 前装冠の前装材料の種類と特徴および金属コア、フレームへの結合方法を説明できる。 4. ジャケット冠、セラミックフレームに用いる審美修復材料の種類と特徴を説明できる。 [D-1-①、D-2-①⑥⑦、E-3-3)-(1)-③、E-3-4)-(1)-⑦] 事前学習：WebClass に提示された資料により審美修復材料の種類と組成及び物性について必要な事項を予習しておくこと。
9月24日(木) 1、2、3、4限	佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学) 佐藤仁助教 (歯科放射線学)	実習試験② (内丸) 印象採得 (外来) 印象採得を実地できるようになる。 口内法エックス線撮影 (1階 歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。	以下の項目を規定時間内に実施できる。 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 [F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習：印象採得について各自シミュレーション練習を行い試験に臨むこと。 以下の項目を規定時間内に実施できる。 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 [E-1-2)-⑦]
9月25日(金) 1、2限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	グループ実習発表会 放射線撮影 (矢巾) グループごとにエックス線を読影し発表 1班20分×6班 質疑 まとめ講義 シミュレーターや相互実習での口内法エックス線撮影実習を通じて習得したことをわかりやすく発表できるようになる。	1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 [E-1-2)-⑦]

<p>9月25日(金) 3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 千田弥栄子助教 (う蝕治療学) 村上智彦助教 (歯科補綴学) 佐藤 仁助教 (歯科放射線学) 森川和政教授 (小児歯科学)</p>	<p>医療コミュニケーション 実習試験 (矢巾実習室) ロールプレイ実習で医療 面接を実施できるよう になる。</p>	<p>1. 指定された時間内に、初診時医療面接を 行うことができる。 [F-1-1] 事前学習：IDP講義「医療コミュニケーション1-4」の内容を復習し、各自医療面接の歯 科医師役をシミュレーション練習して実習 に臨むこと。</p>
<p>9月28日(月) 1限</p>	<p>熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)</p>	<p>災害歯科医療 大規模災害時の歯科医師 の役割を理解できるよう になる。</p>	<p>1. 多職種連携による大規模災害時の活動に ついて説明できる。 2. 災害被災者に対する歯科医師の役割を説 明できる。 3. 災害犠牲者に対する歯科医師の役割を説 明できる。 4. グループワークを取り入れて、発災後の 経時的活動記録(クロノロジー)の重要 性を理解する。 [B-2-2)-⑨、B-2-3)-①] 事前学習：過去の大規模災害1例について、 その発生原因と被害の説明文を作成する。</p>
<p>9月28日(月) 2限</p>	<p>工藤義之准教授 浅野明子講師 (歯科医学教育学) 森川和政教授 (小児歯科学分野)</p>	<p>医療コミュニケーション5 チーム医療、羞恥心、リ ーダーシップ 診療録の意義、質の高い 診療録の記載方法につ いて説明できるようにな る。</p>	<p>1. チーム医療について説明する。 2. 患者の羞恥心について説明できる。 3. チーム医療におけるリーダーシップにつ いて説明できる。 [A-4, A-5] 事前学習：WebClassの資料を理解しておく。 インターネットでチーム医療、羞恥心、リ ーダーシップについて調べ、まとめておく。講 義の最初に事前学習の内容についてプレゼ ンテーションの機会を設ける。</p>

<p>9月28日(月)</p> <p>3、4限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>グループ学習 ファシリテーター 全身疾患 工藤義之准教授 (歯科医学教育学) 歯周系 滝沢尚希助教 (歯周療法学) 摂食嚥下 福徳暁宏助教 (補綴・インプラント学) 院内感染 下山佑講師 (分子微生物学) 訪問診療 村上智彦助教 (補綴・インプラント学) 矯正系 畠山慧助教 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ学習発表会 (矢巾) グループごとに発表 まとめ</p> <p>1班20分×6班 質疑5分×6班 与えられた課題について 必要な資料を収集して問 題点を明らかにし、まと めることができるように なる。 クラス全員に対してわか りやすいプレゼンテーシ ョンができるようになる。</p>	<p>1. 与えられた課題を解決できる。 2. 調べたことを聞き手に解りやすく説明で きる。 [E-5-1)、E-3-3)-(3)、E-4-1)、F-1-2)、G-4]</p>
<p>9月29日(火)</p> <p>1、2限</p>	<p>間山寿代講師 (歯科矯正学)</p>	<p>グループ実習発表会</p> <p>印象&模型作製(内丸)</p> <p>グループごとに作製した 模型をもとに発表 まとめ 1班20分×6 質疑</p> <p>まとめ講義 印象採得法と模型作製法 実習を通じて習得したこ とをわかりやすく発表で きるようになる。</p>	<p>1. 印象採得の目的を説明できる。 2. 採得した印象を評価することができる。 3. 作製した研究用模型を評価することがで きる。 [E-2-2)-④] [F-1-2)-①②、F-3-1)-⑤] 事前学習：印象採得、模型作製に関連した材 料など、歯科理工学や材料学の教科書を 調べる。各自の印象や模型について評価 を行う。</p>

<p>9月29日(火)</p> <p>3、4限</p>	<p>佐藤仁助教 (歯科放射線学)</p> <p>佐藤和朗教授 ※間山寿代講師 飯塚康之助教 水川卓磨助教 桑島幸紀助教 畠山慧助教 菊池恵美子助教 (歯科矯正学)</p> <p>千田弥栄子助教 (う蝕治療学)</p>	<p>補足実習 ※ <u>該当者のみ、それ以外は内丸で出席確認、自主学习</u></p> <p>口内法エックス線撮影 (1階歯科放射線第2臨床実習室) シミュレーターや相互実習で口内法エックス線撮影ができるようになる。</p> <p>印象採得(外来) 学生相互で印象を採得し研究用模型を作製できるようになる。</p> <p>医療コミュニケーション実習 ロールプレイ実習で医療面接を実施できるようになる。</p>	<p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二等分法を実施できる。 2. 正放線投影を実施できる。 3. 口内法撮影を正しい手順で実施できる。 <p>[E-1-2)-⑦]</p> <p>以下の項目を規定時間内に実施できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印象採得に必要な器具・器材が準備できる。 2. 適切な印象採得が実施できる。 3. 患者さんを想定し適切な説明を行うことができる。 <p>[D-2)-③④、F-2-1)-①、F-3-1)-⑤⑥]</p> <p>1. 指定された時間内に、初診時医療面接を行うことができる。</p> <p>[F-1-1)]</p> <p>事前学習：補足実習該当者は、「口腔内エックス線撮影実習」「印象採得実習」「医療面接実習」の内容を復習し、各自シミュレーション練習して実習に臨むこと。</p>
-----------------------------	---	---	---

コース最終試験

月 日	担 当	
<p>9月30日(水)</p> <p>1、2限</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>浅野明子講師 (歯科医学教育学)</p> <p>下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)</p>	<p>最終試験 1</p>
<p>9月30日(水)</p> <p>3、4限</p> <p>*</p>	<p>工藤義之准教授 (歯科医学教育学)</p> <p>森川和政教授 (小児歯科学分野)</p> <p>浅野明子講師 (歯科医学教育学)</p> <p>下山佑講師 (分子微生物学)</p> <p>小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リハビリテーション学)</p>	<p>最終試験 2</p>

(* : コースアンケート実施)

成績評価方法

<p>講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。</p> <p>講義：試験成績 65 点以上を合格とする。</p> <p>実習：実習評点 65 点以上を合格とする。</p> <p>印象、模型作製実習：実習過程と実習試験で評価する。</p> <p>放射線実習：実習過程と実習試験で評価する。</p> <p>医療面接実習：知識（実習内容の理解）、技術（コミュニケーションスキル、情報収集）、態度（身だしなみ、歯科医師としての礼節のある行動、積極性）で評価する。</p>

特記事項・その他

本コースでは、一般的な講義に加えて能動的学修方法（プレゼンテーション、グループワーク、シミュレーション、相互評価）を適宜取り入れるとともに、歯科医療センター外来での相互実習やロールプレイによる医療面接実習を行う。また、講義の途中あるいは最後に DESS、WebClass、クリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。試験終了後に WebClass を通じてフィードバックする。実習において十分なパフォーマンスを発揮できなかった場合は、補足実習にてフィードバックしてパフォーマンスの向上を図る。

グループワークは Society に従い実施する。班ごとに異なった課題を与えるので、各班で課題について調べ、ディスカッションして最終発表までにプレゼンテーションの準備を行うこと。

進捗状況、作業目標は毎回のグループ学習の開始時、終了時に WebClass にアップすること。指導ファシリテーターとのやり取りは WebClass、メールや直接面会して行うこと。最終発表は発表 20 分、質疑応答 10 分で行う。

印象&模型作製実習、エックス線撮影実習は内丸診療室で実施する。診療室でのふさわしい態度、服装について考察し、実践すること。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 5 版	阿南壽ほか編	永末書店	2017 年
教	保存修復学 7 版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2019 年
教	保存修復クリニカルガイド 2 版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009 年
教	歯内治療学 5 版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2012 年
教	臨床歯周病学 3 版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020 年
教	ザ・ペリオドントロジー 3 版	沼部幸博ほか編	永末書店	2014 年
参	失敗しない歯周外科：キュレットから再生療法まで	小方 頼昌・國松 和司 著	クインテッセンス出版	2007 年
推	歯周病学用語集 第 3 版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019 年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著第 3 版	E. S. コーエン 編 鴨井久一 監訳	西村書店	2009 年
推	臨床歯科理工学	宮崎隆ほか編	医歯薬出版	2006 年
推	院内感染防止マニュアル IV	岩手医科大学附属病院歯科医療センター院内感染予防対策委員会	岩手医科大学附属病院歯科医療センター院内感染予防対策委員会	2009 年
教	歯科矯正学 6 版	飯田順一郎、葛西一貴ほか編	医歯薬出版	2019 年
参	矯正歯科臨床ヒント集（カラーアトラスハンドブック）	三浦廣行、葛西一貴、氷室利彦 編	クインテッセンス出版	2004 年
参	混合歯列期の矯正歯科治療	後藤滋巳ほか編	医歯薬出版	2002 年
参	メディカル・インタビューマニュアル第 3 版：医師の本領を生かすコミュニケーション技法第 3 版	福井次矢 監修	インターメディカ	2002 年
参	POS による歯科診療録の書き方	日野原 重明 監修	医歯薬出版	2005 年
参	臨床口腔診断学	内山 洋一ほか編	国際医書出版	1994 年
参	総合口腔診断学	増田 屯 編	砂書房	1996 年
教	口腔外科学 4 版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2020 年
推	口腔外科学 5 版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016 年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年
参	現代小児歯科学 改訂5版	黒須 一夫 編著	医歯薬出版	1994年
参	小児の口腔軟組織疾患：診断ア トラス	甘利 英一、武田 泰典 著	医学情報社	1995年
参	小児歯科学 第5版	白川哲夫 編集代表	医歯薬出版	2017年
教	歯科臨床における画像診断ア トラス 第2版	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2020年
参	口腔解剖学 第2版	脇田稔・井出吉信監修 前田健康 ほか編	医歯薬出版	2019年
推	図説口腔解剖学 1～5巻 3版 3 刷	上條雍彦 編	アナトーム社	2006-07年
推	内科学 11版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017年

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートパソコン 一式	SVP1121A2J	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用
コピー機 imageRUNNER ADVANCE	C5235F	1	基礎実習・研究用機器	講義配布資料作成
ノートパソコン	CF-LX3HE0BP	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用
ノートパソコン	INSPRION	1	視聴覚用機器	実習（講義）の資料提示用
プレゼンテーションマ ウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション
メディカルビデオレコ ーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレ イ一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション
CE チェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション作製
Macmini Corei5	MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテ ーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧